

人権週間



<人権映画祭の開催について>

12月4日～10日は、人権週間となっています。

加布里支部の取組として、

- 1) 街頭啓発（サニー加布里店前）にて活動
- 2) 加布里小学校子ども達の人権標語表彰式

たくさんの人権標語があつまり、みんなすばらしい作品ばかりでした。その中から5名の優秀作品が選ばれ表彰されました。

- 3) 日本唱歌保存愛国会のみなさんによるコーラス

最後はみんな参加し、たのしく歌いました。

- 4) 中村哲ドキュメンタリー映画“荒野に希望の灯をともし”を上映。

・・・感想・・・

砂漠化した土地に命の水を導いた中村哲先生、泥にまみれ、宗教や慣習の違いを受け入れ、命の危険さえ感じながら活動を続けられました。私達の心に響くものがあったのではと思います。

市同協加布里副支部長 佐藤真弓



<人権映画祭を振り返って>

12月2日に、市同協加布里支部の人権映画祭において、医師中村哲、現地活動35年の軌跡のドキュメンタリー映画を観覧いただきました。

皆様も、よく御存知のように、中村医師は、アフガニスタン・ジャララバードで2019年12月4日に武装集団の凶弾に倒れましたが、アフガニスタンで医療や用水路建設による復興支援に尽くされている中の出来事であります。

中村医師は、アフガニスタンの無医村地区で診療を行ううちに、2000年に行った凄まじい干ばつの荒野の中で難民化して飢餓と苦境にあえぐ人々を見て、医療だけでは命は助けられないと、農業や土木分野とは縁遠い身でありながら、井戸を掘り、また、難工事の用水路建設に、立ちあがられたのです。

中村医師は、終戦の翌年（1946年）福岡市で生まれ、幼少期は、両親の故郷、北九州・若松で過ごしてあります。叔父は芥川賞作家・火野葦平（本名 玉井勝則）さんで、祖父母は、火野葦平さんの小説「花と龍」のモデルになった玉井金吾郎さんと妻のまんさんです。まんさんが息子の葦平（勝則）さんや子供達によく言ってあった言葉は「身分で人を判断してはいけない」「苦しむ人がいたら助けてあげること」まんさんの言葉を聞いて育った子供の一人が中村哲さんです。この言葉が、苦しむ人達を見捨てることのできない中村医師を育てたのだと思います。

中村医師がアフガニスタンの人々に本当に心から寄り添われたと思う事は、日本の先人達の知恵、九州筑後川に今も残る江戸時代の治水工事により作られた朝倉市の山田堰の工法を採用されたことです。この工法だと後々、地域住民の力で、維持管理が可能だからです。なお、河川工事がもたらしたものは、緑の大地だけでなく、地域住民が協力しあう連帯感が生まれたことです。

この映画を見て、考えさせられた事は、平和を愛し、最後まで人を裏切らず、人に優しく寄り添うことの大切さ。今の混迷した時代に人として進むべき道を示された映画でした。

市同協加布里支部長 谷口 勝則



つながり

市同協加布里支部

令和6年1月1日発行
平成10年起
第99号
コミュニティセンター歌舞里
TEL/FAX322-3026



人権標語作品

人権標語入賞者作品

☆支部長賞

5年1組 鶴崎 美桜さん
その言葉 心のくもり 晴れにする

☆副支部長賞

5年1組 武末 湊乃音さん
その笑顔 みんなで守ろう これからも

☆人権擁護委員賞

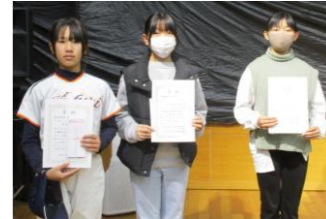
5年2組 荒木 千夏さん
人それぞれ みんなちがう良さがあって
みんな良い

☆校区運営協議会長賞

6年1組 中村 秀護さん
だれにでも 心をこめてありがとう

☆コミュニティセンター長賞

6年2組 中村 唯七さん
みんなある 一人ひとつの 小さな花

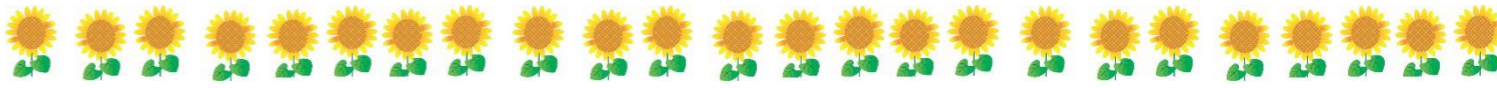


入賞されたみなさん
おめでとうございます！

5・6年生の人権標語作品は中面に記載しています。ぜひご覧ください。

毎年、12月の人権週間にあわせて加布里小学校5年生、6年生のみなさんに人権に関する啓発標語を募集しています。

今年もたくさんの作品が集まりました。その中から5作品を優秀作品として選び、12月2日に行われた市同協加布里支部・人権映画祭において表彰を行いました。



100字で「伝える」ありがとうメッセージ
今年も募集します！

あなたの大切な人・ペット・ものなど、普段想っていてもなかなか相手に伝えられない「ありがとう」をこの場を借りて伝えてみませんか。
令和6年3月1日発行の市同協加布里支部広報「つながり」内においてメッセージが採用された方には、豪華（?!）賞品をプレゼントします。みなさまの応募をお待ちしております。
詳しくは、応募用紙（配付のオレンジの紙）をご覧ください。

人権標語作品 5年1組

- ・進もうよ 楽しい未来へ みんなでね
- ・助け合おう みんなでいっしょに 思いやり
- ・大丈夫? 困ってる人 助けるよ
- ・えがおでたのしくへい わめぎさうよ
- ・あきらめない 心がだいじ 大切に
- ・人生は みんなの笑顔 勇気出る
- ・助け合い みんな楽しくくらそうよ
- ・その言葉 心のくもり 晴れにする
- ・辛いこと 楽しいことも シェアしよう
- ・人権は 自分にあつて みんなある
- ・思いやり 大事にしよう みんなでね
- ・未来には 希望の光 あるんだよ
- ・その笑顔 みんなで守ろう これからも
- ・気をつけて 言葉はたまに ぶきになる
- ・ぼくたちは 未来にむかって あるいてる
- ・ぜつ望は 希望になるよ 笑顔になろう
- ・いつまでも みんなで平和 まもってく
- ・助け合う 町つくるため 今やろう
- ・あいさつで にこにこえがお ひろめよう
- ・「ありがとう」 そのひとこと で みんな笑顔
- ・言ったことばは もうかえせない あのことば
- ・みんなが 助け合おう 次は君の番だよ
- ・ありがとう ごめんなさいは 自分から
- ・人生は つまずいたつて あたりまえ
- ・いい個性 自分らしさを たいせつに
- ・言った言葉 消せないから 大切に
- ・全員で 笑顔満開 たのしいな

人権標語作品 5年2組

- ・あいさつで 笑顔の花を さかせよう
- ・「ありがとう。」その言葉一つで うれしくなる
- ・見た目で差別 見た目は個性 するべきじゃない
- ・一人じゃない 一人でかかえないで きっとだれかが たすけてくれる
- ・人それぞれ みんなちがう良さがあつて みんな良い
- ・大丈夫 自分自身に 自信もとう
- ・大丈夫 あなたはあなた そのままでいて
- ・思いやり じぶんの心 広げよう
- ・大丈夫 一人じゃないよ みんないる
- ・大丈夫 話してごらん 親友だから
- ・そのなやみ 話してみてもよ 家族だもん
- ・泣かずに わらおう 人生楽しい
- ・みんなが いじめをやめよう
- ・みんなが安全、安心できる 学校生活をしよう
- ・いじめだめ
- ・友だちと みんななかよく あそぼう
- ・何もしない それがいちばん かんたんだ
- ・大丈夫 一人じゃないよ 家族だもん
- ・楽しもう みんな楽しく 遊ぼうよ
- ・心が弱い人が いじめをおこす
- ・かぞくは みんな なかま
- ・大丈夫 話してごらん 友だちだから
- ・あの子には ぼくとはちがう よさがある
- ・大丈夫 話してごらん そのなやみ
- ・いじめ0 みんな平等 絶対!
- ・差別なし 世界の平和を 守ろうよ

人権標語作品 6年1組

- ・差別はね 人をきずつける 凶器だよ
- ・ありがとう みんながいえば へいわだね
- ・大切に 一つしかない そのいのち

人権標語作品 6年2組

- ・だれにでも 心をこめて ありがとう
- ・思いやり みんなにしよう 大切だ
- ・あいさつで 笑顔あふれる 学校に
- ・一言で 全てをうばう 未来さえ
- ・人の夢 バカにはせずに たすけよう
- ・どんな子も その行動には わけがある
- ・差別せず みんなにやさしく 思いやり
- ・なかないで みんな友達 笑顔なる
- ・いじめはね ひこのころを きずつける
- ・あいさつは 笑顔になるよ いいことだ
- ・いつだって 自由に生きよう 夢をもとう
- ・いじめせず 平和を保ち 夢をもつ
- ・差別はね みんなきずつく ためなこと
- ・人の夢 ばかにしないよ ぜつたいに
- ・思いやり 相手を思う 心だね
- ・戦争をやめて自由な いい世界
- ・差別して 笑顔をうばうの やめましょう
- ・好きな人 愛をつたえる 愛してる
- ・「大丈夫?」 その一言で 楽になる
- ・差別はだめ 平和をつくろう 笑顔だけ
- ・差別せず みんなで平和を 守りましょう
- ・ありがとう やさしさの輪を ひろげよう



表彰式の様子



加布里小学校の皆様、ご協力ありがとうございました。